

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	廃棄物処理等に係る情報提供経費	担当部局庁	大臣官房廃棄物リサイクル対策部			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度～終了未定	担当課室	廃棄物対策課			廃棄物対策課長 山本 昌宏	
会計区分	一般会計	施策名	4-3 一般廃棄物対策 (排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「廃棄物処理業関係PRTR届出支援システム」における届出内容の正確性向上及びとりまとめ結果の精度向上 「廃棄物処理技術等情報提供システム」を活用した循環型社会構築の促進・普及 啓発 「施設整備費用に係る情報提供データベース」、「発注者支援のための専門家人材バンク」の提供を受けた地方公共団体による、適正で透明な入札・契約の実施						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1) 廃棄物処理施設についても事業者として化学物質の把握が義務づけられており、これにより、環境大臣あてに提出されたデータに関して、届出支援システムにより提出されてくるデータの確認及び修正等の取りまとめ作業を行う。 (2) 廃棄物処理技術等情報提供システムにおける、技術情報等提供システムのデータ収集・解析及び更新、国内外の廃棄物処理情報システムのデータベース更新を行う。 (3) 廃棄物処理施設入札・契約適正化システム管理・運営費 ① 施設整備費等情報提供データベース管理・運営 ② バイオガス化施設及びし尿処理施設の各種データ収集及びその解析 ③ 専門家人材バンクへの効果的な支援						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	23	24	24	19	11
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	23	24	24	19	11
	執行額	18	25	27			
執行率 (%)	78%	104%	113%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)
	PRTRは特定の化学物質の一定量以上の排出量及び移動量を把握することを目標としており、設定することは困難	成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	PRTR法に基づき届出のあった一般廃棄物処理事業に係る届出数	活動実績 (当初見込み)		2488	34415	34471	() ()
単位当たりコスト	219 (円/第一種指定化学物質届出数)	算出根拠	22年度契約金額(7,561,836)÷第一種指定化学物質届出数 (ただし、届出は、後年度修正されるため、増減の可能性あり)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	19	11	廃棄物処理施設入札・契約適正化システム管理・運営費について廃止。			
	計	19	11				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>「環境省廃棄物処理技術情報」WEBページの内容の更なる充実を図る。情報収集の対象は廃棄物処理に係る広範な技術情報とする一方で、東日本大震災に係る災害廃棄物処理などタイムリーなテーマやレアメタルの回収などの政策的に重要なテーマについては重点的に情報収集を図ることにより、効果的な情報提供を行う。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>過去の実績等を分析し、事業内容を見直すことで、予算額を節減すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>廃棄物処理施設入札・契約適正化システム管理・運営費については廃止し、概算要求額を減額。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

環境省
27百万円
〔事業立案・調整・とりまとめ (事業発注者)〕

【総合評価入札】

A.(株)アーシン
10百万円
〔国内外の廃棄物処理技術情報の収集、事例調査〕

【一般競争入札】

B.(財)日本環境衛生センター
9百万円
〔入札・契約の適正化に係る技術支援調査
◇契約実態調査の実施
◇マニュアル等の作成
◇研修会の開催〕

【随意契約】

C.(独)製品評価技術基盤機構
〔一般廃棄物処理業等PRTR届出データ電子化等
◇電子届出システムの管理
◇届出データの内容確認
◇データの整理・修正・電子〕

【一般競争入札】

D.加藤商事(株)
1百万円
〔一般廃棄物の再生利用・適正処理に関する実態調査〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)アーシン			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	国内外における廃棄物処理技術調査	10			
計		10	計		0
B.(財)日本環境衛生センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	入札・契約の適正化に係る技術支援調査	9			
計		9	計		0
C.(独)製品評価技術基盤機構			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	一般廃棄物処理業等PRTR届出データ電子化等	8			
計		8	計		0
D.加藤商事(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	一般廃棄物の再生利用・適正処理に関する実態調査	1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アーシン	国内外の廃棄物処理技術情報の収集、事例調査	10	7	98%

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本環境衛生センター	入札・契約の適正化に係る技術支援調査	9	2	88%

支出先上位10者リスト

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)製品評価技術基盤機構	一般廃棄物処理業等PRTR届出データ電子化等	8	随意契約	-

支出先上位10者リスト

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	加藤商事(株)	一般廃棄物の再生利用・適正処理に関する実態調査	1	6	11%